

令和5年度 第3回 笠井小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年2月22日（木）9時30分から11時20分まで
- 2 開催場所 笠井小学校 2F パソコン室
- 3 出席委員 森下律子、市川規子、遠藤義継、石神好洋、
佐藤剛、高林直子、寺田達弘
- 4 欠席委員 松本久和
- 5 オブザーバー 高林修（市議会議員）、鈴木真人（市議会議員）、
小林剛（笠井協働センター）
- 6 学校支援コーディネーター 石野裕子
- 7 学校 伊藤美香（校長）、杉山貴和（教頭）、
小木大輔（教務主任）、氏原志穂（CSディレクター）
- 8 教育委員会 堀田洋一（教育総務課）
- 9 傍聴者 なし
- 10 会議録作成者 氏原志穂

11 議長の選出

司会から、事前選出において、松本会長より森下委員に御推挙いただいた旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- (1) 学校関係者評価について
- (2) いじめ防止等のための基本方針について
- (3) 学校運営協議会自己評価について
- (4) その他

13 会議記録

司会の杉山（教頭）から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

司会杉山（教頭）から森下委員へ交代

(1) 学校関係者評価について

教務主任から、別紙資料に基づき学校評価集計報告を基に説明があり、熟議を行った。委員からは以下の発言があった。

- ・校内を参観したところ子どもたちは活発でまじめな印象を受けた。教室が整えられていてヘルメットや靴箱等も整頓ができていた。 (石神委員)

- ・家庭科のボランティアに参加した際、ミシンが得意、不得意な子どもがいたが自分
が分かると他の子に教えてあげる姿が見られた。ボランティアも見守りながら、子
どもたち同士が教え合うのも子どもたちの関係も深まると感じた。

(森下委員、市川委員)

(2)いじめ防止等のための基本方針について

- ・いじめ対策コーディネーターからいじめ対策防止の取り組みの報告があった。
委員からは認知件数、事例等の質問があり、いじめ対策コーディネーターから対
応の仕方や、早期発見、未然防止に努めている事の報告があった。

(3)学校運営協議会の自己評価について

- ・校長から、グランドデザインに基づき教育目標や、目指す子どもの姿についても
説明があった。具体的な内容や取り組みについて各委員が、意見質疑を通して
理解し、共有する事により熟議する事ができた。

(森下委員、市川委員、遠藤委員、石神委員、佐藤委員、寺田委員)

- ・コミュニティースクール便りや、学校便りを地域に回覧し、コミュニティースクール
取り組みの紹介や、ボランティアの募集を行った。

(市川委員、石神委員、寺田委員)

- ・子どもたちの教育活動を充実させていくために、地域家庭の協力の必要性と、い
じめ対策や、学校防災対策等、教育活動の課題の見える化と共通認識の必要
性を感じた。今年度を踏まえ協議会の内容を学校支援に生かし、子どもたちの
ための実績ある協議会の一員でありたい。

(森下委員、遠藤委員、石神委員、高林委員、寺田委員)

その他

来年度の学校運営の基本的方針について

- ・校長から、プレゼンテーション形式で来年度の学校運営の基本的方針について
説明があった。

夢育やらまいか事業(CS 加算分)について

- ・教頭より夢育やらまいか事業について別紙に基づき報告があり全員異議なくこ
れを承認した。